

第5回市立秋田総合病院病院建設検討委員会報告

1 日時 平成27年11月2日(月) 15:00～15:40

2 場所 理事長室

3 出席者

小松理事長(進行) 伊藤病院長 水俣副院長 円山副院長 中川内科診療部長
佐藤外科診療部長 吹谷看護部長 南雲薬剤部長 本間事務局長
糟谷事務局次長

福祉総務課(オブザーバー) 眞崎参事、西崎主査

経営企画室(庶務) 伊藤室長、伊藤室長補佐

4 議題

(1) 検討状況報告書(素案)の検討について

(2) その他

5 審議経過

事務局

ただいまから第5回市立秋田総合病院病院建設検討委員会を開会する。
会の進行は、委員会設置要綱の定めより理事長にお願いする。

委員長

今回は、検討状況報告書素案を作成するにあたり移転候補地の絞り込みを
行う必要があるが、候補地選定について審査する項目とその配点案につい
て、事務局から説明をお願いします。

事務局

(資料に基づき説明)

委員長

ただいま説明のあった評価項目とその配点について、何か意見等はない
か。

委員

「整備コスト」について、金額的なものを加味したコストか。

事務局

はい。金額的なもののほか、整備しやすいか等が加味される。

委員長

他にないようなので、評価項目とその配点については、事務局案のとおり
とする。次に、それぞれの候補地の評価について説明をお願いします。

事務局

(資料に基づき説明)

委員長	ただいま説明のあった評価について、何か意見等はないか。
委員	パブリックコメントで候補地4以外に、なにか意見はあったか。
事務局	パブリックコメントは、全部で2件であり、いずれも候補地4の追加に関してである。
委員	将来的にコンパクトシティ構想に基づき、中心部に近い方が良いと思う。候補地3について、現在は出入りにくいですが、こういった大規模事業では導線の変更や建物自体への工夫により、入りやすくすることはできないか。
委員	工夫して入りやすくないか検討したが、現地は中央道の出口があり、しかも中央分離帯で分断されているため、市役所側からは、右折が困難な状況と思われる。新国道側は中央分離帯はないが、山王十字路が近く、日常渋滞が発生している状況であり、現地の南側手前に小路があるものの非常に狭く、出入りは困難だと思われる。
委員	候補地3について、地盤は良くないのか。
委員	市役所、県庁を含めた現地周辺は、田んぼだった。
委員	最大震度6弱や6強とは、どういう意味か。
事務局	秋田市に影響があると想定される4つの地震についての最大震度であり、候補地1、2、3が6強で、候補地4と現地の6弱に比べ、揺れ方が激しいとされている。
委員長	津波被害に関してはどうか。
事務局	秋田市津波ハザードマップでは、候補地2について一部浸水が想定されているが、その他の候補地は、想定されていない。
委員	候補地1について取得コストについては、どうか。
委員	金額的なものは、きちんと出せない。
委員長	候補地3も、地権者が複数いるため難しいと思う。

- 委員 候補地4は、別途駐車場の確保が必要となる。現地建替えに関し、現病院西側の道路は、市役所方面から途中まで複数車線であり、将来、この周辺も拡張予定があるのか。
- 委員 先日共同溝の事前工事が開始されたので、拡張等の予定はないと思われる。
- 委員 整備コスト等について、所有者が3者の場合と1者で同じ点数なのは、なぜか。また、現地について北東側私有地の目途が立っている意味でポイントが高いのか。
- 委員 それもあるが、全ての土地を取得する必要がない点を考慮している。3者であろうが1者であろうが、全ての土地を取得するのは、なかなか大変なことで、記載はないが、現在地の処分も課題となる。
- 委員 あまり広くない候補地2について、別途駐車場の確保は検討できないか。
- 委員長 現在の駐車場として使用している場所も私有地であり、結構離れている。
- 委員 その他にも県市連携文化施設との関係で、そちらが伸びると影響が出る点もリスクかと思う。
- 委員 この資料は、検討委員だけでなく外部にも公開されるため、きちんと点数付けしたうえで主観が入っていない客観的なものであることを示す必要があると思う。例えば、候補地4について、駐車場用地の確保が必要であれば、その分、ポイント化することが必要であると思う。
- 委員長 候補地4について広さ・形状の項目に、駐車場確保について記載し、その分、点数を下げることとする。
また、整備コスト・手続きについて、地権者数によって差をつけることとする。
- 委員 そういう観点で考えれば、点数と順番が合わないのは、おかしい。
- 委員 入口要件の広さの部分や、県市連携文化施設の問題がクリアされないと無理であり、現段階では難しいということでの評価である。これが、面積は20,000㎡で良いのではないかとか、県市連携文化施設がとんとん拍子に進んでいった場合などは、この点数となっていくかもしれない。

委員 客観的でわかりやすいという点では、やはり、特殊事情をきちんと点数化し、点数どおりの順番にする方が、違和感を覚えず、一般にも誤解を与えず良いと思う。

委員長 では、点数について先に出た意見を反映させ、順番を点数順に修正することとしたうえで、検討委員会における適地については、現地ということで良いか。

(異議なし)

委員長 それでは、市立秋田総合病院の建替適地は、5の現地建替えとする。ほかに何かないか。

事務局 今後、今回の選定結果を反映させた検討報告書素案を作成し、各委員の決裁の後、それを秋田市や市議会等に報告し、再度意見をいただくこととする。
次回検討委員会は、その意見を踏まえ調整したものにより、12月以降の開催を考えている。

委員長 では、本日の市立秋田総合病院建設検討委員会は、これで終了する。

以上